

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年2月16日(2006.2.16)

【公表番号】特表2001-527091(P2001-527091A)

【公表日】平成13年12月25日(2001.12.25)

【出願番号】特願2000-526542(P2000-526542)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/025 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/12 (2006.01)

A 6 1 K 39/385 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/025

A 6 1 K 39/00 H

A 6 1 K 39/12

A 6 1 K 39/385

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月16日(2005.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 免疫学的融合パートナーに任意に連結したHPVからのE6もしくはE7タンパク質又はE6/E7融合タンパク質と、免疫調節CpGオリゴヌクレオチドと、を含む組成物。

【請求項2】 前記融合パートナーが、ヘモフィルス・インフルエンゼBからのプロテインD又はそのフラグメント、ヘモフィルス・インフルエンゼBからのリポプロテインD又はそのフラグメント、インフルエンゼウイルスからのNS1又はそのフラグメント、及びストレプトコッカス・ニューモニエからのLYTA又はそのフラグメントからなる群から選択されることを特徴とする請求項1に記載の組成物。

【請求項3】 前記E6又はE7タンパク質がHPV16又はHPV18から得られることを特徴とする請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】 前記E7タンパク質が突然変異されていることを特徴とする請求項1、2又は3に記載の組成物。

【請求項5】 前記E6タンパク質が突然変異されていることを特徴とする請求項1、2又は3に記載の組成物。

【請求項6】 少なくとも4ヒスチジン残基のヒスチジntagを更に含む請求項1～5のいずれかに記載の組成物。

【請求項7】 更なるHPV抗原を含む請求項1～6のいずれかに記載の組成物。

【請求項8】 前記免疫調節CpGオリゴヌクレオチドが、ヘキサマーモチーフ：プ

リン - プリン - シトシン - グアニン - ピリミジン - ピリミジンを含むことを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】 前記免疫調節 C p G オリゴヌクレオチドが、2 又はそれ超の C p G モチーフを有することを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】 前記 C p G オリゴヌクレオチドが、ホスホロチオエートヌクレオチド間結合を含むことを特徴とする請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 11】 前記 C p G オリゴヌクレオチドが：

オリゴ 1 : TCC ATG ACG TTC CTG ACG TT

オリゴ 2 : TCT CCC AGC GTG CGC CAT

オリゴ 3 : ACC GAT GAC GTC GCC GGT GAC GGC ACC ACG

からなる群から選択されることを特徴とする請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 12】 医薬に用いるための請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 13】 H P V 抗原に対する被検体の免疫応答を誘導するための請求項 1 ~ 12 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 14】 被検体において H P V が誘導する腫瘍を予防し又は治療するための請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 15】 請求項 1 ~ 14 のいずれかに記載の組成物を調製する方法であって、免疫学的融合パートナーに任意に連結した E 6 , E 7 又は E 6 / E 7 融合タンパク質と、免疫調節 C p G オリゴヌクレオチドと、を混合することを含む方法。